

令和6年度 自分事化に向けた取組計画



図：流域治水の推進イメージ(きっかけは様々)

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (総括編)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- HPや広報誌、広報施設等を用いた広報の実施、ダム見学等の機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明
- 流域治水のパネル展や土砂災害パネル展を実施
- 広報誌で水害に関する啓発活動を実施
- 防災関連情報等の提供

リスク情報等の提供

- 河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実
- マイタイムラインの周知・啓発
- ハザードマップ等による水害リスク情報の提供

連携活動

- ダム放流通報連絡会議
- 避難行動の支援、重要水防箇所合同巡視
- 他機関連携型タイムラインを順次展開
- 関係機関と連携

教育活動

- 3Dマインクラフトを活用した防災教育を実施
- マイタイムラインの普及啓発
- 防災教育の実施
- 地域防災リーダーの育成
- 災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施

訓練活動

- 市町村の研修や、防災訓練への協力
- JR及びJRグループ会社による駅施設への浸水対応を含めた総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施
- 水防訓練等の実施
- 避難所運営訓練
- 避難訓練

出前講座の開催

- 防災マップの活用・周知

水防活動の支援

- 水防団活動の支援等
- 水防団に対する資機材の支援
- 水防訓練の実施
- 重要水防巡視への参加
- 災害協定に基づく連携

水災害対策の支援

- 岩手県風水害対策支援チームへの情報提供
- 指定緊急避難場所の環境整備
- 市内重要箇所へ土嚢の事前集積

計画策定

- 四十四田ダムかさ上げのため、調査・設計、環境調査等を実施
- 洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、新規指定及び見直しを実施
- タイムライン、マイタイムラインの作成等
- 要配慮者利用施設等の避難計画作成
- 地域防災計画の更新等

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

自分事化に向けた取組一覧表

対策	実地主体	実施内容
連携活動	岩手河川国道事務所	○重要水防箇所合同巡視、他機関連携型タイムラインを順次展開、グループ毎に分けた事務レベルの打合せを実施
	北上川ダム統合管理事務所	○ダム放流通報連絡会議
	岩手県	○大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施、市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施
	盛岡地方気象台	○市町村防災担当者に防災気象情報の解説を実施、市町村と災害対応の検証を実施
	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社、盛岡市、遠野市、滝沢市	○関係機関と連携
	花巻市	○浸水想定区域内の要配慮者利用施設に防災ラジオを配布
	奥州市	○避難行動の支援、重要水防箇所合同巡視
	岩手町、紫波町	○水防訓練等の実施
	矢巾町、平泉町	○防災学習等の実施
流域治水の広報	北上川ダム統合管理事務所	○HPや広報誌、広報施設等を用いた広報の実施、ダム見学等の機会を利用してダムの役割や効果、必要性を説明
	岩手県	○流域治水のパネル展や土砂災害パネル展を実施
	盛岡市、一関市	○広報誌で水害に関する啓発活動を実施
	花巻市、北上市、奥州市、滝沢市、矢巾町、平泉町	○防災関連情報等の提供
	岩手町	○令和7年度ハザードマップの改訂準備作業
出前講座の開催	金ヶ崎町	○防災マップの活用・周知

自分事化に向けた取組一覧表

対策	実地主体	実施内容
リスク情報等の提供	岩手河川国道事務所	○河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実
	北上川ダム統合管理事務所	○安全な避難行動のための取組
	岩手県	○危機管理型水位計・監視カメラの継続運用、メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供
	盛岡地方気象台	○台風説明会、ホットライン、気象台からのコメント等
	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社	○ホットライン連絡体制の構築、ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実、ハザードマップやLアラートを活用した発災時における早期列車運行の発表
	盛岡市	○マイタイムラインの周知・啓発
	岩手県、盛岡市、北上市花巻市、八幡平市、奥州市、紫波町、平泉町、一関市、滝沢市	○ハザードマップ等による水害リスク情報の提供
	岩手県、盛岡市、北上市	○防災ラジオや緊急速報メール等を用いた情報提供
教育活動	岩手河川国道事務所	○3Dマイクラフトを活用した防災教育を実施
	岩手県、盛岡地方気象台	○マイタイムラインの普及啓発
	盛岡地方気象台	○毎週金曜に実施している「あなたの町の予報官TV」による気象解説を実施
	岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所、岩手県、盛岡地方気象台、盛岡市、花巻市、岩手町、一関市、八幡平市、西和賀町、滝沢市、雫石町、奥州市	○防災教育の実施
	岩手町、滝沢市、雫石町、北上市、奥州市、八幡平市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、雫石町、一関市、遠野市	○地域防災リーダーの育成
	奥州市、紫波町、北上市	○ハザードマップを活用した防災情報の提供
	奥州市	○防災に関する啓発活動
	遠野市	○災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

自分事化に向けた取組一覧表

対策	実地主体	実施内容
訓練活動	岩手河川国道事務所	○水害リスクや防災に関する知識の普及 ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及
	北上川ダム統合管理事務所	○警報訓練を実施、各地区の防災訓練への参画や出前講座の実施、 ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施(通年)
	岩手県	○气象台等と連携し、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施
	盛岡地方气象台	○市町村の研修や、防災訓練への協力
	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社	○JR及びJRグループ会社による駅施設への浸水対応を含めた総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施
	盛岡市、八幡平市、奥州市、滝沢市、 雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、 西和賀町、金ヶ崎町、花巻市、北上市、 一関市	○水防訓練等の実施
	平泉町、北上市	○避難所運営訓練
	遠野市、一関市	○避難訓練
水防活動の支援	岩手河川国道事務所	○水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所の実地確認
	北上川ダム統合管理事務所	○予測降雨量が基準値に達した場合は、治水協定に基づき事前放流の検討・実施、 最新技術を活用したダム管理
	盛岡地方气象台	○大規模な災害時に、県や市町村へ気象庁防災対応支援チームとして気象庁職員を派遣
	岩手県、盛岡市、花巻市、金ヶ崎町、 平泉町、八幡平市、奥州市	○水防団活動の支援等
	奥州市、滝沢市、矢巾町、北上市	○水防団に対する資機材の支援
	北上市	○水防訓練の実施
	北上市	○重要水防巡視への参加
	岩手県、矢巾町	○災害協定に基づく連携

自分事化に向けた取組一覧表

対策	実地主体	実施内容
水災害対策の支援	盛岡地方気象台	○岩手県風水害対策支援チームへの情報提供
	盛岡市	○避難所への誘導標識整備と避難所の備蓄品等の環境整備 ○ワンコイン浸水センサ実証実験実施地区の提供(予定)
	花巻市	○指定緊急避難場所の環境整備
	滝沢市	○市内重要箇所に土嚢の事前集積
	矢巾町	○地域住民のニーズに速やかに対応
	平泉町	○高齢者等要支援者に対する地域防災訓練の実施を検討
計画策定	北上川ダム統合管理事務所	○四十四田ダムかさ上げのため、調査・設計、環境調査等を実施
	岩手県	○要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、新規指定及び見直しを実施
	盛岡地方気象台	○地域防災計画や避難マニュアル作成への協力
	盛岡市、北上市	○タイムライン、マイタイムラインの作成等
	盛岡市、遠野市、一関市、 八幡平市、奥州市、滝沢市、 紫波町、矢巾町、西和賀町、 平泉町、花巻市、北上市	○要配慮者利用施設等の避難計画作成
	雫石町、花巻市、北上市、 岩手町	○地域防災計画の更新等

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
◎水災害、流域治水の広報 ―地域―個人―企業―団体― ①知る機会を増やす	盛岡市	広報もりおか（防災特集）、ホームページを通じて、普及啓発を実施			
	花巻市	広報等を活用した指定緊急避難場所、指定避難所、ペット避難所及びマイ・タイムラインについて周知			
	北上市	コミュニティFMを活用した防災関連情報の提供 ●	●	●	
	遠野市	関係機関との情報連携による防災体制の構築			
	一関市	広報誌への記事掲載 ●			
	八幡平市		広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●		
	奥州市	防災・災害情報伝達ツールとしてスマートフォンアプリ「ぼちっと奥州」の普及			
	滝沢市	広報たきざわに防災特集を掲載			
	岩手町	令和7年度に向けたハザードマップの改訂準備作業			
	矢巾町	更新した防災マップ（WEB版）の周知・普及			
	平泉町	地域住民への防災情報の確実な伝達を図るためデジタル防災無線の各戸配布			
	岩手県	流域治水や土砂災害のパネル展を実施 ●	●		
	北上川ダム統合管理事務所	HPや広報誌、広報施設（ものしり館）、流域市町村の小学校からのダム見学を通じてダムの役割・効果等を周知			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎連携活動 ―地域―個人―	盛岡市	タイムラインに基づき関係機関と連絡調整を実施		
	花巻市	浸水想定区域内の要配慮者利用施設に防災ラジオを配布 ・岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施 (11月10日予定) ・岩手中部水道企業団と連携した災害時給水訓練の実施 (時期未定)		
	八幡平市	自主防災組織リーダーの育成		
	奥州市	自主防災組織、社会福祉協議会等と共同し、避難行動要支援者に対する個別計画の作成		
		自主防災組織や用配慮者利用施設等に対し緊急告知ラジオを貸与 ●重要水防箇所合同巡視 (水防団、地域ほか)		
	滝沢市	関係機関、自主防災組織と平時からの連絡体制の構築		
	岩手町	防災関係機関と地域住民の実践的な総合訓練の実施		
	紫波町	北上川上流盛岡地区合同水防訓練を実施 ●		
	矢巾町	更新した防災マップ (冊子版・WEB版) の活用法に関する説明会の実施		
		マイ・タイムラインの作成実習を展開		
金ヶ崎町	出前講座の実施 ●	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進		
平泉町	● 防災士による災害対応学習会の実施			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす — 地域 — 個人 — ◎連携活動	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社	沿線自治体、消防、警察等の防災関係機関と連携した訓練の実施				
	岩手県	● マスメディアやSNSを活用し、大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施	●	市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施		
	盛岡地方気象台	● 市町村訪問の実施	市町村との「振り返り」の実施。			
	北上川ダム統合管理事務所	● ダム放流通報連絡会議等の開催	緊急時の対応をレビューし相互理解の深化や対応改善を推進（随時実施）			
	岩手河川国道事務所	●	●	他機関連携型タイムラインを順次展開		
		●	●	重要水防箇所合同巡視		
		●	グループ毎打合せ（8月予定）			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
②自分事と捉えることを促す ー地域ー個人ー企業ー団体ー ◎リスク情報等の提供	盛岡市	市民（特に周辺住民）に対して、洪水浸水想定区域や避難場所等について周知			
		防災ラジオ及び広範囲災害警報報知システムの普及に向けた方向性の検討			
		ため池ハザードマップの周知			
	花巻市	ハザードマップ及び新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」について周知の取組			
		洪水・土砂災害ハザードマップの無料配布の継続			
	北上市	市HPや公式SNSのほか、緊急速報メールやLアラートを活用した市民への情報提供			
		防災ラジオの無償貸与及び販売の継続			
		消防・防災セミナーにおける防災マップの活用			
	一関市	防災マップ（洪水・土砂災害ハザードマップ）の配布等			
	奥州市	ハザードマップやホームページ等で水害等災害リスクの情報提供			
	滝沢市	防災マップ（学習ページ）や広報に防災特集を掲載			
	紫波町	ハザードマップを全戸に配布し、町民に周知			
矢巾町	防災ラジオの周知・普及				
	適時に防災気象情報や防災関連情報の広報の実施（早期伝達に留意）				
平泉町	◎ ハザードマップを活用し地域住民説明会等を通して、水害リスクや避難場所等について周知				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 ―地域―個人―企業―団体―	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社	● ホットライン連絡体制の構築 ● ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実 ● ハザードマップやLアラートを活用した発災時における早期列車運行の発表			
	岩手県		● 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、住民説明会等の実施 ● 緊急速報メール・LINE等による県民への情報提供、メディア連携による洪水・土砂災害情報の提供 ● 危機管理型水位計・監視カメラの継続運用		
	盛岡地方気象台	● 台風説明会、ホットライン、気象台からのコメント (随時実施)	●		
	北上川ダム統合管理事務所	● HPでダム諸量等リアルタイム情報の公表、ダム貯水池の監視カメラ画像の配信・提供			
	岩手河川国道事務所	● 河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
②自分事と捉えることを促す 地域 個人 ◎教育活動	盛岡市	町内会や小中学校で防災講座を実施	● ● ●	● ● ●	● ● ●	
	花巻市	自主防災組織や地域住民への出前講座の実施				● 自主防災組織等リーダー研修会の実施(2月開催を予定)
	北上市	出前講座等地域住民主体の学習会におけるハザードマップを活用した防災情報の提供				● 北上市自主防災マイスター講習会の実施
	遠野市	災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施				
	一関市	消防・防災セミナーの実施				● 一関市防災指導員(AID)養成講習
			消防・防災セミナー指導者養成講座		● ●	
	八幡平市	防災講話、研修会				
		小中学校における防災教育、出前授業				
	奥州市	防災士等による地域での出前防災講座、防災パネル展等の開催による防災意識の向上				● 防災士の養成 ● 防災パネル展等による啓発
	滝沢市	自主防災訓練等による地域住民への周知				
	滝沢市地域防災リーダー養成講座の実施					
雫石町	防災士の育成及び地域の防災リーダーの育成					
	●	防災講座及び小中学校の防災学習等の実施		●	● 役場職員への防災研修会の実施	

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
②自分事と捉えることを促す ー地域ー個人ー ◎教育活動	岩手町	●	●	●
	紫波町	●	●	●
	矢巾町	●	●	●
	西和賀町	●	●	●
	金ヶ崎町	●	●	●
	平泉町	●	●	●
	岩手県	●	●	●
	盛岡地方気象台	●	●	●
	北上川ダム統合管理事務所	●	●	●
	岩手河川国道事務所	●	●	●

防災士の育成及び地域の防災リーダーの育成

出前講座を開催し、地域住民に対して周知

自主防災組織リーダー研修会を実施

ハザードマップに関する地域住民説明会を実施

自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施

自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施

県防災士養成事業を活用した町防災士の養成（養成講座）

防災士養成講座修了式の実施

県防災士養成事業を活用した町防災士の養成

地域や団体を対象とした出前講座を実施

出前講座の実施

ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進

平泉町自主防災組織研修会を実施

自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣

土砂災害等に関する出前講座の実施

毎週金曜に実施している「あなたの町の予報官TV」による気象解説を実施

出前講座・防災セミナー・ダム見学等でダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施

報道機関を対象とした説明会の実施

報道機関を対象とした説明会の実施

自主防災組織に対して説明会を実施（6月予定）、（9月予定）

3Dマインクラフトを活用した防災教育を実施（R5年度11月実施）
（R6年度も引き続き実施予定）

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
②自分事と捉えることを促す 地域 個人 ◎訓練活動	盛岡市	避難訓練や盛岡総合防災訓練、水防訓練を実施 ●	●	●	
	花巻市	要配慮者利用施設の避難訓練実施 ● (6月30日予定)	● (11月10日予定)	● (11月10日予定)	● (11月10日予定)
	北上市	市職員及び避難所施設管理者による避難所開設訓練の実施 ●	住民の参加する北上市総合防災訓練の実施 ●		
	遠野市				
	一関市				
	八幡平市				
	奥州市				
	滝沢市				
	雫石町				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
②自分事と捉えることを促す 地域 個人 ◎訓練活動	岩手町	● 総合水防演習に参加への参加 役場職員及び公民館職員等指定避難所担当職員による避難訓練を実施	●	● 要配慮者利用施設の避難訓練の実施		
	紫波町		● 住民参加による紫波町防災訓練を実施 ● ハザードマップを活用した地区防災訓練を実施	● 要配慮者利用施設の避難訓練実施		
	矢巾町	自主防災組織が主導する防災訓練等の支援			● 町総合防災訓練実施	
	西和賀町	●	● 要配慮者利用施設の避難訓練実施	●		
	金ヶ崎町	● 防災訓練の実施				
	平泉町			● 防災関係団体による防災訓練の実施		
	東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社		●	● JR及びJRグループ会社による駅施設への浸水対応を含めた総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施		
	岩手県	● 気象台等と連携し、災害への初動対応や頭上訓練等に係る研修を実施	市町村と連携した水防訓練の実施			
	盛岡地方気象台	市町村の研修や、防災訓練への協力				
	北上川ダム統合管理事務所	出前講座・防災セミナー・ダム見学等でダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施 異常洪水時を想定した訓練の実施 各地区の防災訓練への参画				
	岩手河川国道事務所		● 警報訓練(住民参加型)を実施	●	● 水害リスク(ハザードマップ)や防災に関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及	

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
③ 行動を誘発する 地域 個人 企業 団体 ◎ 計画策定	盛岡市	台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、避難情報の発令等に着目したタイムラインを策定 要配慮者利用施設の避難計画作成			
	花巻市		要配慮者利用施設が今後あらたに浸水想定区域に指定された場合の避難確保計画作成支援	市地域防災計画の更新（令和6年度内）	
	北上市	浸水想定区域内にある要配慮者利用施設への避難確保計画作成支援及び訓練実施支援			地域防災計画の修正・公表
	遠野市	要配慮者利用施設の避難計画作成			
	一関市	要配慮者利用施設の避難確保計画作成			
	八幡平市		要配慮者施設等の避難確保計画の策定支援と避難の実効性確保		
	奥州市		要配慮者利用施設の避難計画作成		
	滝沢市		要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成		
	雫石町		地域防災計画・受援計画・業務継続計画の更新		
	岩手町		地域防災計画、業務継続計画、受援計画、岩手町消防計画、避難情報の判断・伝達マニュアルの更新		
	紫波町		要配慮者利用施設の避難計画の継続・見直し		危険区域に居住する避難行動要支援者の個別避難計画作成

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
◎計画策定 ―地域―個人―企業―団体― ◎行動を誘発する	矢巾町	要配慮者利用施設の避難計画作成支援			
		要配慮者利用施設の避難計画作成			
		避難行動要支援者名簿への登録、及び個別避難計画の作成			
	西和賀町	要配慮者利用施設の避難計画作成			
		要配慮者利用施設の避難計画作成支援			
	平泉町		高齢者等要支援者に対する避難行動等個別計画の策定		
	岩手県			要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	
				洪水浸水想定区域図の新規指定及び見直しを実施（～R7年度）	
				マイタイムラインの普及啓発	
	盛岡地方気象台			地域防災計画や避難マニュアル作成への協力	
	北上川ダム統合管理事務所			四十四田ダムかさ上げのため、調査・設計、環境調査等を実施	




北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
③ 行動を誘発する 一人	◎ 水災害対策の支援	盛岡市	ワンコイン浸水センサ実証実験実施地区の提供 (予定)			
		盛岡市	避難所への誘導標識整備と避難所の備蓄品等の環境整備			
		花巻市	指定緊急避難場所の環境整備(石鳥谷野球場駐車場の環境整備、戸塚森森林公園駐車場の環境整備)			
		滝沢市	市内重要箇所出土囊の事前集積			
		矢巾町	地域住民からの要望に基づく水災害対策の支援を実施			
		平泉町	高齢者等要支援者に対する地域防災訓練の実施を検討			
		盛岡地方气象台	岩手県風水害対策支援チームへの情報提供 (随時実施)			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
③ 行動を誘発する 地域—個人—企業・団体 ◎ 水防活動の支援	盛岡市	水防協力団体の指定に向けた検討 (予定)			
	花巻市	・水防技術講習会の受講支援 (時期未定) ・北上川上流合同水防演習の参加支援 (時期未定)			
	北上市	重要水防巡視への参加 ● 水防団における水防訓練の実施 ● 水防団における資機材点検の実施 ●			
	八幡平市	水防団との情報伝達体制の確認 水防資器材の確認			
	奥州市	水防団(消防団)員の確保 自主防災組織等へ水防用土のう砂の提供			
	滝沢市	水防団に対して必要資機材の支援、市内重要箇所に土嚢の事前集積			
	矢巾町	● 水防団、町建設業協議会、町職員との合同による備蓄用土のうの整備			
	金ヶ崎町	● 水防災訓練の実施			
	平泉町	出水期に備えた水防団の水防活動の支援			
	岩手県	災害時の応援協定			
	盛岡地方气象台	J E T T (気象庁防災対応支援チーム) の派遣 (随時実施) 北上川上流 指定河川洪水予報の発表 (随時実施)			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
③ 行動を誘発する ー地域ー個人ー企業ー団体ー ◎ 水防活動の支援	北上川ダム統合 管理事務所	A I 等の最新技術を活用したダム洪水予測システムを使用し流入量予測等の精度向上を図る 			
	岩手河川国道事務所	事前放流の検討・体制構築、実施 予測降雨量が基準値に達した場合は、治水協定に基づき事前放流の検討・実施 			
	岩手河川国道事務所	水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所（重要水防箇所など）の確実な伝達 			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(盛岡市)

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることにする令和6年度の取組計画

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- タイムラインに基づき関係機関と連絡調整を実施

流域治水の広報

- 広報もりおか(防災特集)、ホームページを通じて、普及啓発を実施



教育活動

- 町内会や小中学校で防災講座を実施

訓練活動

- 避難訓練や盛岡市総合防災訓練、水防訓練の実施、ダム緊急放流警報伝達訓練への協力



- 要配慮者利用施設の避難訓練実施(令和5年10月31日時点で実施対象621施設のうち、332施設で実施済み。実施率は53.5%)

リスク情報等の提供

- 市民(特に周辺住民)に対して、洪水浸水想定区域や避難場所等について周知(洪水ハザードマップ、防災マップ等)
- 防災ラジオ及び広範囲災害警報報知システムの普及に向けた方向性の検討(防災ラジオの購入環境構築に向けた検討)
- マイタイムラインの周知・啓発
- ため池ハザードマップを作成・周知(避難場所や経路等に関する情報)

水防活動の支援

- 水防協力団体の指定に向けた検討(予定)

水災害対策の支援

- 避難所への誘導標識整備と避難所の備蓄品等の環境整備
- ワンコイン浸水センサ実証実験実施地区の提供(予定)

計画策定

- 台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、避難情報の発令等に着目したタイムラインを策定(国管理河川及び県管理河川について、河川ごとに策定し、運用を開始)
- 要配慮者利用施設の避難計画作成(令和5年10月31日時点で作成対象621施設のうち、497施設で作成済み。策定率は80.0%)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(盛岡市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報もりおか（防災特集）、ホームページを通じて、普及啓発を実施							
	◎連携活動 地域 個人	タイムラインに基づき関係機関と連絡調整を実施							
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	市民（特に周辺住民）に対して、洪水浸水想定区域や避難場所等について周知							
		防災ラジオ及び広範囲災害警報報知システムの普及に向けた方向性の検討							
		ため池ハザードマップの周知							
	◎教育活動 地域 個人	町内会や小中学校で防災講座を実施 ●	●	●	●	●	●	●	●
	◎訓練活動 地域 個人	避難訓練や盛岡総合防災訓練、水防訓練を実施		●	●				
		要配慮者利用施設の避難訓練実施							
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、避難情報の発令等に着目したタイムラインを策定							
		要配慮者利用施設の避難計画作成							
	◎水災害対策の支援 個人	ワンコイン浸水センサ実証実験実施地区の提供（予定）							
		避難所への誘導標識整備と避難所の備蓄品等の環境整備							
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防協力団体の指定に向けた検討（予定）							

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(花巻市)

取組計画: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 浸水想定区域内の要配慮者利用施設に防災ラジオを配布(対象の施設管理者と連携)(常時)



- 岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施(11月10日予定)
- 岩手中部水道企業団と連携した災害時給水訓練の実施(時期未定)

流域治水の広報

- 指定緊急避難場所、指定避難所、ペット避難所及びマイ・タイムラインについて広報紙やホームページ等による周知(常時)



教育活動

- 自主防災組織や地域住民への出前講座の実施(30回、1,500人)
- 自主防災組織等リーダー研修会の実施(1回、250人)

訓練活動

- 自主防災組織による防災訓練の実施の支援
- 住民避難など住民参加型の市防災訓練を実施(6月30日予定)



リスク情報等の提供

- ハザードマップ及び新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」について周知の取組(常時)

水防活動の支援

- 水防団(消防団)活動の支援
 - ・水防技術講習会の受講支援
 - ・北上川上流合同水防演習の参加支援

水災害対策の支援

- 指定緊急避難場所の環境整備
 - ・石鳥谷野球場駐車場の環境整備
 - ・戸塚森森林公園駐車場の環境整備

計画策定

- 要配慮者利用施設(新規)の避難確保計画作成を支援
 - ・施設が今後あらたに浸水想定区域に指定された場合の避難確保計画作成を支援する(常時)
- 市地域防災計画の更新(令和6年度内)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(花巻市)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人 企業・団体	広報等を活用した指定緊急避難場所、指定避難所、ペット避難所及びマイ・タイムラインについて周知			
	浸水想定区域内の要配慮者利用施設に防災ラジオを配布 ・岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施 ●(11月10日予定) ・岩手中部水道企業団と連携した災害時給水訓練の実施(時期未定)			
②自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	ハザードマップ及び新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」について周知の取組			
	自主防災組織や地域住民への出前講座の実施 自主防災組織等リーダー研修会の実施(2月開催を予定) ●			
	・住民避難など住民参加型の市防災訓練を実施 ●(6月30日予定)		・岩手県及び遠野市と連携した県総合防災訓練の実施 ●(11月10日予定)	
自主防災組織による防災訓練の実施の支援 ・岩手中部水道企業団と連携した災害時給水訓練の実施(時期未定)				
③行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設が今後あらたに浸水想定区域に指定された場合の避難確保計画作成支援			
	市地域防災計画の更新(令和6年度内)			
	指定緊急避難場所の環境整備(石鳥谷野球場駐車場の環境整備、戸塚森森林公園駐車場の環境整備)			
・水防技術講習会の受講支援(時期未定) ・北上川上流合同水防演習の参加支援(時期未定)				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(北上市)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- コミュニティFMを活用した防災関連情報の提供

教育活動

- 出前講座等地域住民主体の学習会におけるハザードマップを活用した防災情報の提供
- 北上市自主防災マスター養成講習の実施



訓練活動

- 住民の参加する総合防災訓練の実施
- 市職員及び各地区交流センター等施設管理者による避難所開設訓練の実施
- 各自主防災組織で実施する訓練への支援
- 防災関係機関の実施する訓練への協力



リスク情報等の提供

- 洪水・土砂災害ハザードマップの無料配布の継続

- 市HPや公式SNSのほか、緊急速報メールやLアラートを活用した市民への情報提供
- 防災ラジオの無償貸与及び販売の継続

水防活動の支援

- 重要水防巡視への参加
- 水防団における水防訓練の実施
- 水防団の資機材点検の実施



計画策定

- 浸水想定区域内にある要配慮者利用施設への避難確保計画作成支援及び訓練実施支援
- 地域防災計画の修正・公表
- 住民への水害時マイ・タイムライン作成支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(北上市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	コミュニティFMを活用した防災関連情報の提供 ●			
	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	洪水・土砂災害ハザードマップの無料配布の継続 市HPや公式SNSのほか、緊急速報メールやLアラートを活用した市民への情報提供 防災ラジオの無償貸与及び販売の継続			
② 自分事と捉えることを促す	◎教育活動 地域 個人	出前講座等地域住民主体の学習会におけるハザードマップを活用した防災情報の提供			北上市自主防災マイスター講習会の実施 ●
	◎訓練活動 地域 個人	市職員及び避難所施設管理者による避難所開設訓練の実施	住民の参加する北上市総合防災訓練の実施 ●	各自主防災組織で実施する訓練への支援 防災関係機関の実施する訓練への協力	
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域内にある要配慮者利用施設への避難確保計画作成支援及び訓練実施支援			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	重要水防巡視への参加 ●	水防団における水防訓練の実施 ●		地域防災計画の修正・公表
			水防団における資機材点検の実施 ●		

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (遠野市)

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関との情報連携による防災体制の構築

教育活動

- 災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施



訓練活動

- 水害リスク(ハザードマップ)や防災に関する知識の普及(ハザードマップに関する説明会を開催し、水害リスクや避難場所等について、地域住民に周知)
- 避難確保計画の作成支援及び避難訓練の実施

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難計画作成 (市内27施設中 24施設作成済み)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(遠野市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	関係機関との情報連携による防災体制の構築			
	◎連携活動 地域 個人				
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	◎教育活動 地域 個人	災害時の自主防災組織の役割及び避難所運営に関する研修会の実施			
	◎訓練活動 地域 個人	水害リスクについて市広報への掲載やケーブルテレビでの放映等を行い、防災知識の周知			
		避難確保計画の作成支援及び避難訓練の実施			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難計画作成			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(一関市)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

流域治水の広報

- 広報誌で水害に関する啓発活動を実施

教育活動

- 市民や各団体を対象とした消防・防災セミナーの実施
- 消防・防災セミナー指導者養成講座の実施
- 一関市防災指導員(AID)養成講習の実施

訓練活動

- 盛岡地方气象台、県主催の各種研修等への出席
- 各地域での水防訓練の実施
- 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練の実施

リスク情報等の提供

- 消防・防災セミナーにおける防災マップの活用

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(一関市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌への記事掲載 ●			
	◎連携活動 地域 個人				
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	消防・防災セミナーにおける防災マップの活用			
	◎教育活動 地域 個人	消防・防災セミナーの実施			
	◎訓練活動 地域 個人	要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難確保計画作成			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

消防・防災セミナーにおける防災マップの活用

消防・防災セミナーの実施

一関市防災指導員 (AID) 養成講習

消防・防災セミナー指導者養成講座 ● ●

要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練

● ● ● ● 盛岡地方気象台・県主催の研修会等への出席
● ● 水防訓練の実施

要配慮者利用施設の避難確保計画作成

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(八幡平市)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 自主防災組織リーダーの育成
(防災士養成研修に2名受講)
- 防災出前講座を実施
(地域住民の防災意識の高揚、マイ・タイムラインの普及取組)

訓練活動

- 水防訓練などでの水防技術・知識の習得
- 防災関係機関との実施地域住民が一体となった実践的な訓練の実施



リスク情報等の提供

- 浸水想定区域、土砂災害計画区域等を公表
- 総合的な防災マップ(洪水・土砂災害ハザードマップ)を更新・配布

水防活動の支援

- 水防団を対象とした水防訓練への参加

計画策定

- 避難確保計画の策定支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(八幡平市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体		広報誌で水害・土砂災害を啓発 ●		
	◎連携活動 地域 個人		自主防災組織リーダーの育成 →		
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	防災マップ(洪水・土砂災害ハザードマップ)の配布等 →			
	◎教育活動 地域 個人	防災講話、研修会 →			小中学校における防災教育、出前授業 →
	◎訓練活動 地域 個人		住民参加型の避難訓練 ●	防災マップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進 →	
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の策定支援と避難の実効性確保 →			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防団との情報伝達体制の確認 →			水防資器材の確認 →

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(奥州市)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 自主防災組織、社会福祉協議会等と共同し、避難行動要支援者に対する個別計画の作成
- 自主防災組織や用配慮者利用施設等に対し緊急告知ラジオを貸与
- 重要水防箇所合同巡視(水防団、地域で情報共有)

流域治水の広報

- スマートフォンアプリ「ぼちっと奥州」の普及を図り、防災・災害情報の早期伝達を行う

教育活動

- ハザードマップを活用した、防災意識の向上(全戸配布したハザードマップにマイタイムライン作成ページの掲載)
- 防災士等による地域住民や学校等への出前防災講座の実施



- 地域における防災リーダーの育成
- 防災パネル展等による啓発
- 防災士の養成

訓練活動

- 総合防災訓練の実施(市と自治会や自主防災組織が一体となった実践的な訓練の実施)

リスク情報等の提供

- ハザードマップやホームページ等で水害等災害リスクの情報提供

水防活動の支援

- 水防団(消防団)員の確保(消防団協力事業所及び消防団応援の店の拡充と制度周知)
- 水防団(消防団)員の準中型免許取得に係る費用補助
- 自主防災組織等へ水防用土のう砂の提供

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難計画作成(対象となる105施設の内99施設が作成済み(作成率94%))

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(奥州市)

取組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	防災・災害情報伝達ツールとしてスマートフォンアプリ「ぼちっと奥州」の普及 自主防災組織、社会福祉協議会等と共同し、避難行動要支援者に対する個別計画の作成 自主防災組織や用配慮者利用施設等に対し緊急告知ラジオを貸与 ●重要水防箇所合同巡視（水防団、地域ほか）			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	ハザードマップやホームページ等で水害等災害リスクの情報提供 防災士等による地域での出前防災講座、防災パネル展等の開催による防災意識の向上 ●防災士の養成 ●防災パネル展等による啓発 ●総合防災訓練の実施・地域との連携（避難行動や安否確認訓練、緊急告知ラジオの起動確認ほか） ●令和6年度北上川上流合同水防演習の実施			
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難計画作成 水防団（消防団）員の確保 自主防災組織等へ水防用土のう砂の提供			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(滝沢市)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関、自主防災組織と平時からの連絡体制の構築

流域治水の広報

- 広報たきざわに防災特集を掲載

教育活動

- 自主防災訓練等による地域住民への周知(自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及)
- 滝沢市地域防災リーダー養成講座の実施



訓練活動

- 関係機関、自主防災組織と連携した防災訓練の実施

リスク情報等の提供

- 防災マップ(学習ページ)や広報に防災特集を掲載

水防活動の支援

- 水防団に対して必要資機材の支援
- 市内重要箇所出土壌の事前集積

水災害対策の支援

- 市内重要箇所出土壌の事前集積

計画策定

- 要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(滝沢市)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報たきざわに防災特集を掲載			
	◎連携活動 地域 個人	関係機関、自主防災組織と平時からの連絡体制の構築			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	防災マップ（学習ページ）や広報に防災特集を掲載			
	◎教育活動 地域 個人	自主防災訓練等による地域住民への周知			
	◎訓練活動 地域 個人	滝沢市地域防災リーダー養成講座の実施			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	関係機関、自主防災組織と連携した防災訓練の実施			
	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成			
	◎水災害対策の支援 個人	市内重要箇所に土嚢の事前集積			
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防団に対して必要資機材の支援、市内重要箇所に土嚢の事前集積				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(雫石町)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

○防災士の育成及び地域の防災リーダーの育成
(参加者2名)



○防災講座及び小中学校の防災学習等の実施
(開催 7回、参加者114名)

○役場職員への防災研修の実施 (参加者40名)

訓練活動

○総合防災訓練への参加 (参加者約700名)
(防災意識の高揚及び地域の防災力の向上)



○総合水防演習に参加 (参加者40名)
(水防技術の向上及び防災意識の高揚)

リスク情報等の提供

計画策定

○地域防災計画の更新

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(雫石町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
<p>①知る機会を増やす</p> <p>◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎連携活動 地域 個人 </p>				
<p>②自分事と捉えることを促す</p> <p>◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎教育活動 地域 個人 </p> <p>◎訓練活動 地域 個人 </p>		<p>防災士の育成及び地域の防災リーダーの育成</p> <p>● 防災講座及び小中学校の防災学習等の実施</p> <p>● 総合水防演習に参加</p> <p>● 総合防災訓練を実施</p>		<p>● 役場職員への防災研修会の実施</p>
<p>③行動を誘発する</p> <p>◎計画策定 地域 個人 企業・団体 </p> <p>◎水災害対策の支援 個人 </p> <p>◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体 </p>		<p>地域防災計画・受援計画・業務継続計画の更新</p>		

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(岩手町)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 防災関係機関と地域住民の実践的な総合訓練の実施

流域治水の広報

- 令和7年度ハザードマップの改訂準備作業(新たな土砂災害警戒区域等の指定後に実施予定)

教育活動

- 出前講座を開催し、地域住民に対して周知



- 地域防災リーダーの育成

訓練活動

- 北上川上流総合水防演習に参加



- 役場職員及び公民館職員等指定避難所担当職員による避難訓練を実施
- 要配慮者利用施設の避難訓練の実施(年度内に各施設順次実施)

リスク情報等の提供

計画策定

- 地域防災計画、業務継続計画、受援計画、岩手町消防計画、避難情報の判断・伝達マニュアルの更新

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(岩手町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	令和7年度に向けたハザードマップの改訂準備作業			
	◎連携活動 地域 個人	防災関係機関と地域住民の実践的な総合訓練の実施			
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	◎教育活動 地域 個人		防災士の育成及び地域の防災リーダーの育成		
	◎訓練活動 地域 個人	●	●	●	出前講座を開催し、地域住民に対して周知
		●	●	●	要配慮者利用施設の避難訓練の実施
		● 総合水防演習に参加への参加		●	●
		● 役場職員及び公民館職員等指定避難所担当職員による避難訓練を実施		●	●
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	地域防災計画、業務継続計画、受援計画、岩手町消防計画、避難情報の判断・伝達マニュアルの更新			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (紫波町)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○水防訓練などの演習、訓練の充実
(北上川上流盛岡地区合同水防訓練へ参加を通じ、水防技術の向上及び関係機関との連携)

教育活動

○自主防災組織リーダー研修会を実施



○ハザードマップに関する地域住民説明会を実施
(水害リスクや避難場所等について、地域住民に周知)

訓練活動

○住民参加による紫波町防災訓練を実施



○ハザードマップを活用した地区防災訓練を実施

○要配慮者利用施設の避難訓練実施
(洪水浸水想定区域内 12施設(計画作成済み)
土砂災害警戒区域内 2施設(未計画))

リスク情報等の提供

○ハザードマップを全戸に配布し、町民に周知

計画策定

○要配慮者利用施設の避難計画の継続・見直し
(洪水浸水想定区域内 12施設(計画作成済み)
土砂災害警戒区域内 2施設(未計画))
○危険区域に居住する個別避難計画作成(令和8年度まで)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(紫波町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人		北上川上流盛岡地区合同水防訓練を実施	●	
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	ハザードマップを全戸に配布し、町民に周知			
	◎教育活動 地域 個人	自主防災組織リーダー研修会を実施	●	●	ハザードマップに関する地域住民説明会を実施
	◎訓練活動 地域 個人		住民参加による紫波町防災訓練を実施	●	●
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難計画の継続・見直し			
		危険区域に居住する避難行動要支援者の個別避難計画作成			
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(矢巾町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 防災マップの活用法に関する地区ごとの説明会を継続実施
(「マイ・タイムライン」の作成実習を含む。)



流域治水の広報

- 防災マップ(WEB版)更新について広報
(町広報誌・HP・防災ラジオ・TVデータ放送による周知)

教育活動

- 自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施
- 県防災士養成事業を活用した町防災士の養成



訓練活動

- 自主防災組織が主導する防災訓練等の支援
- 要配慮者利用施設の避難訓練実施
(施設ごとに避難訓練を実施)

リスク情報等の提供

水防活動の支援

- 災害協定に基づく、矢巾町建設業協議会との連携
- 備蓄用土のうの整備



水災害対策の支援

- 地域住民のニーズに速やかに対応

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難計画作成支援
(避難訓練等により避難の実効性を向上)
- 要配慮者利用施設の避難計画作成
(浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内の全施設(45施設)が避難確保計画を作成済み)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(矢巾町)

取り組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	更新した防災マップ（WEB版）の周知・普及			
	◎連携活動 地域 個人	更新した防災マップ（冊子版・WEB版）の活用法に関する説明会の実施			
		マイ・タイムラインの作成実習を展開			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	防災ラジオの周知・普及			
		適時に防災気象情報や防災関連情報の広報の実施（早期伝達に留意）			
	◎教育活動 地域 個人	● 自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施		● 自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施	● 自主防災組織及び町防災士を対象にした育成講座の実施
	◎訓練活動 地域 個人	● 県防災士養成事業を活用した町防災士の養成（養成講座）			● 防災士養成講座修了式の実施
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	● 要配慮者利用施設の避難計画作成支援			
		● 要配慮者利用施設の避難計画作成			
		● 避難行動要支援者名簿への登録、及び個別避難計画の作成			
	◎水災害対策の支援 個人	● 地域住民からの要望に基づく水災害対策の支援を実施			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	● 水防団、町建設業協議会、町職員との合同による備蓄用土のうの整備			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (西和賀町)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

教育活動

- 地域や団体を対象とした出前講座を実施
- 県防災士養成事業を活用した町防災士の養成

訓練活動

- 自主防災組織や要配慮者利用施設と連携した防災訓練の実施



計画策定

- 要配慮者利用施設の避難計画作成 (土砂災害警戒区域内: 100% (13/13施設) 浸水想定区域内: 0% (0/1施設))
- 要配慮者利用施設の避難計画作成支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(西和賀町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人				
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	◎教育活動 地域 個人		県防災士養成事業を活用した町防災士の養成	●	
	◎訓練活動 地域 個人		自主防災組織や要配慮者利用施設と連携した防災訓練の実施	●	
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難計画作成			
	◎水災害対策の支援 個人	要配慮者利用施設の避難計画作成支援			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (金ヶ崎町)

結果報告： 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

出前講座の開催

○防災マップの活用・周知
(防災マップを活用した出前講座の開催。危険箇所、避難の留意点、避難のタイミング、情報収集)



訓練活動

○防災訓練の実施
(浸水想定区域等を対象にした避難訓練を実施)

出前講座の開催

○防災マップの活用・周知
(防災マップを活用した出前講座の開催。危険箇所、避難の留意点、避難のタイミング、情報収集)

水防活動の支援

○水防訓練の実施
北上川上流胆江流域合同水防演習の実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(金ヶ崎町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人	出前講座の実施	●		
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体				
	◎教育活動 地域 個人	出前講座の実施	●		
	◎訓練活動 地域 個人	● 防災訓練の実施			
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体			● 水防災訓練の実施	

ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進

ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (平泉町)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 防災士等を活用した災害対応学習会の実施



流域治水の広報

- 地域住民への防災情報の確実な伝達を図るためデジタル防災無線の各戸配布 (町内約2,200世帯配布)



教育活動

- 平泉町自主防災組織研修会を実施 (自主防災組織の育成と地域防災力の向上)



訓練活動

- 婦人消防協力隊や各地区自主防災会による避難所運営訓練など、災害に備えた地域防災力の強化



リスク情報等の提供

- ハザードマップを活用し地域住民説明会等を通して、水害リスクや避難場所等について周知



水防活動の支援

- 出水期に備えた水防団の水防活動の支援



水災害対策の支援

- 高齢者等要支援者に対する地域防災訓練の実施を検討



計画策定

- 高齢者等要支援者に対する個別避難計画の策定を検討

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(平泉町)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	地域住民への防災情報の確実な伝達を図るためデジタル防災無線の各戸配布			
	◎連携活動 地域 個人	● 防災士による災害対応学習会の実施			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体		● ハザードマップを活用し地域住民説明会等を通して、水害リスクや避難場所等について周知		
	◎教育活動 地域 個人	● 平泉町自主防災組織研修会を実施			
	◎訓練活動 地域 個人			● 防災関係団体による防災訓練の実施	
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 団体	高齢者等要支援者に対する避難行動等個別計画の策定			
	◎水災害対策の支援 個人	高齢者等要支援者に対する地域防災訓練の実施を検討			
	◎水防活動の支援 地域 個人 団体	出水期に備えた水防団の水防活動の支援			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (東日本旅客鉄道株式会社 盛岡支社)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○沿線自治体、消防、警察等の防災関係機関と連携した訓練の実施

訓練活動

○JR及びJRグループ会社による駅施設への浸水対応を含めた総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施

リスク情報等の提供

○ホットライン連絡体制の構築 (報道機関を通じた情報発信のほか、自社HP上での運行計画を都度、前広に情報共有を継続して実施)
○ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実 (台風・低気圧の時期前までに迅速かつ的確な防災体制が図れるよう、関係自治体等の発信情報収集を進める。)

○ハザードマップやLアラート(財マルチメディア振興センター)を活用した発災時における早期列車運行の発表



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人	沿線自治体、消防、警察等の防災関係機関と連携した訓練の実施			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	ホットライン連絡体制の構築			
		ICTを活用した洪水、防災に関する各種情報発信の充実			
		ハザードマップやLアラートを活用した発災時における早期列車運行の発表			
	◎教育活動 地域 個人				
	◎訓練活動 地域 個人			● JR及びJRグループ会社による駅施設への浸水対応を含めた総合防災訓練をJR東日本盛岡支社の各地区で実施	
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体				

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会 (岩手県)

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

○マスメディアやSNSを活用し、大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施



○市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施

流域治水の広報

○流域治水のパネル展や土砂災害パネル展を実施



訓練活動

○市町村と連携した水防訓練の実施

○气象台等と連携し、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施 (防災気象情報の活用、災害情報システムの操作等)



教育活動

○自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣
○土砂災害等に関する出前講座の実施

○マイタイムラインの普及啓発



模型実験で土石流と砂防堰堤の効果を確認

リスク情報等の提供

○浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表や住民説明会等の実施

○危機管理型水位計・監視カメラの継続運用
○緊急速報メールやLINE等を活用して県民へ情報提供
○メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供

水防活動の支援

○災害時の応援協定



高齢者福祉施設と地域自主防組織との避難確保訓練

計画策定

○要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
○洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画に基づき、142河川について、洪水浸水想定区域の新規指定、11河川について見直しを実施

洪水浸水想定区域指定4ヶ年計画

	全体計画	うち北上川上流圏域
R4	7河川 (新規指定) 23河川 (見直し)	1河川 (新規指定) 7河川 (見直し)
R5	70河川 (新規指定) 2河川 (見直し)	53河川 (新規指定) 2河川 (見直し)
R6	85河川 (新規指定) 4河川 (見直し)	83河川 (新規指定) 2河川 (見直し)
R7	81河川 (新規指定) 1河川 (見直し)	5河川 (新規指定)
合計	243河川 (新規指定) 30河川 (見直し)	142河川 (新規指定) 11河川 (見直し)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(岩手県)

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	流域治水や土砂災害の パネル展を実施 ●	●			
	◎連携活動 地域 個人	●	マスメディアやSNSを活用し、大雨・洪水への備えに関する啓発活動を実施 ●			
		市町村と連携し、防災士の資格取得のための研修会を実施				
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、住民説明会等の実施				
			緊急速報メール・LINE等による県民への情報提供、メディア連携による洪水・土砂災害情報の提供			
			危機管理型水位計・監視カメラの継続運用			
	◎教育活動 地域 個人	自主防災組織等に対する地域防災サポーターの派遣				
			土砂災害等に関する出前講座の実施			
◎訓練活動 地域 個人	●	気象台等と連携し、災害への初動対応や頭上訓練等に係る研修を実施				
		市町村と連携した水防訓練の実施				
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保				
			洪水浸水想定区域図の新規指定及び見直しを実施（～R7年度）			
			マイタイムラインの普及啓発			
	◎水災害対策の支援 個人					
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	災害時の応援協定					

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(盛岡地方気象台)

結果報告: 具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 市町村訪問の実施(15市町村、30人)
防災担当者に防災気象情報の解説を実施
- 振り返りの実施(4市町、8人)
市町村と災害対応の検証を実施

教育活動

- 毎週金曜に実施している「あなたの町の予報官TV」による気象解説を実施
- 自主防災組織等からの依頼による防災講話や、県との連携による研修会等(7回、276人)
- 小中学校への防災教育・マイ・タイムラインを活用した出前講座等の開催(5回、850人)

訓練活動

- 市町村の研修や、防災訓練への協力(5回、850人)

リスク情報等の提供

- 台風説明会、ホットライン、気象台からのコメント等

水防活動の支援

- JETTの派遣
(大規模な災害時に、県や市町村へJETT(気象庁防災対応支援チーム)として気象庁職員を派遣)

水災害対策の支援

- 岩手県風水害対策支援チームへの情報提供

計画策定

- 地域防災計画や避難マニュアル作成への協力

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

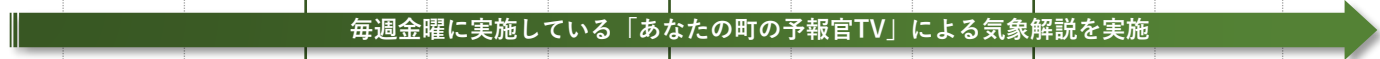

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人	 			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	台風説明会、ホットライン、气象台からのコメント（随時実施） ●			
	◎教育活動 地域 個人				
	◎訓練活動 地域 個人				
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人	岩手県風水害対策支援チームへの情報提供 ● (随時実施)			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	J E T T (気象庁防災対応支援チーム) の派遣 ● (随時実施) 北上川上流 指定河川洪水予報の発表 ● (随時実施)			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(北上川ダム統合管理事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

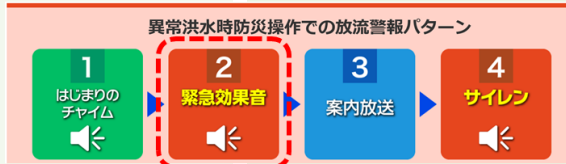
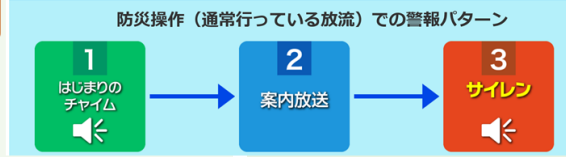
流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- ダム放流通報連絡会議
ダム管理者や関係自治体、利水者、報道関係機関等において、有事の際の通知、連絡体制等の共有

訓練活動

- 警報訓練を実施
緊急放流時の警報音や内容を地域住民に認識させスピーカからの音達範囲を確認(洪水期前1回)



リスク情報等の提供

- 安全な避難行動のための取組
HPでダム諸量等のリアルタイム情報の公表
ダム貯水池の監視カメラ画像の配信・提供(通年)

教育活動

- 報道機関を対象としたダム操作・警報に関する説明会を実施(2回予定)
- 出前講座など、地域防災力を強化するための取組を実施(適宜)



- 各地区の防災訓練への参画や出前講座の実施(適宜)

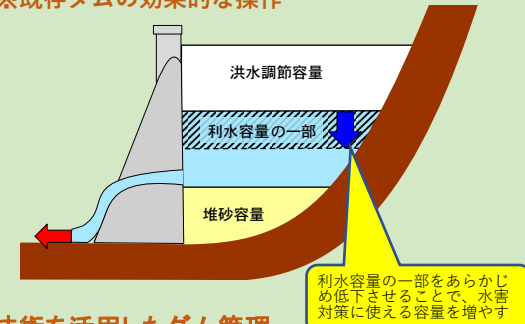


- ダム見学者へのダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施(通年)



水防活動の支援

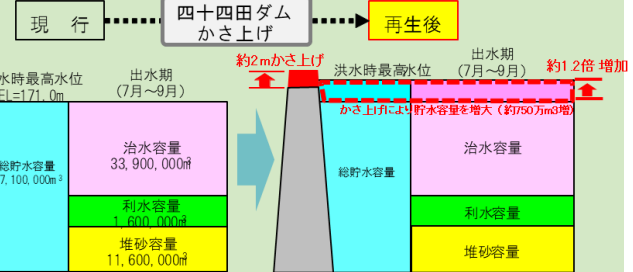
- 予測降雨量が基準値に達した場合は、治水協定に基づき事前放流の検討・実施(適宜)
※既存ダムの効果的な操作



- 最新技術を活用したダム管理
(AIを活用した洪水予測システムを使用し、流入量予測の精度向上に努める)

計画策定

- 四十四田ダムかさ上げのため、調査・設計、環境調査等を実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす ◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体 ◎連携活動 地域 個人	HPや広報誌、広報施設(ものしり館)、流域市町村の小学校からのダム見学を通じてダムの役割・効果等を周知 〇 ダム放流通報連絡会議等の開催 〇 ダム管理者、関係自治体、利水者、報道関係機関等へ有事の際の通知・連絡体制について共有			
② 自分事と捉えることを促す ◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体 ◎教育活動 地域 個人 ◎訓練活動 地域 個人	HPでダム諸量等リアルタイム情報の公表、ダム貯水池の監視カメラ画像の配信・提供 〇 出前講座・防災セミナー・ダム見学等でダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施 〇 報道機関を対象とした説明会の実施 〇 出前講座・防災セミナー・ダム見学等でダム効果や機能の説明、水害リスクの説明を実施 異常洪水時を想定した訓練の実施 〇 警報訓練(住民参加型)を実施	〇 報道機関を対象とした説明会の実施	〇 各地区の防災訓練への参画	
③ 行動を誘発する ◎計画策定 地域 個人 企業・団体 ◎水災害対策の支援 個人 ◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	四十四田ダムかさ上げのため、調査・設計、環境調査等を実施 〇 A I等の最新技術を活用したダム洪水予測システムを使用し流入量予測等の精度向上を図る 〇 事前放流の検討・体制構築、実施 〇 予測降雨量が基準値に達した場合は、治水協定に基づき事前放流の検討・実施			

北上川水系(北上川上流)流域治水協議会(岩手河川国道事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 重要水防箇所合同巡視
(洪水時におけるリスクが高い箇所の確実な伝達を目的に水防団等との合同巡視を実施)
- 他機関連携型タイムラインを順次展開
(河川・気象情報の提供やこれを受けた市区町村による避難情報の発令など、基本的な行動を時系列で整理するタイムラインを、流域などの単位で関係自治体をまとめて作成し、運用するとともに、活用による気づきを修正し改善を図る)
- グループ毎に分けた事務レベルの打合せを実施
(流域治水で取り組むべき25の施策について、各自治体に関心のある施策をアンケート調査し、その結果を踏まえて4つのグループに分け、グループ毎に打合せを開催。共通の目標を持つ自治体が集まる事で、課題共有、意識向上への期待)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

教育活動

- 自主防災組織に対し説明会を実施
- 3Dマインクラフトを活用した防災教育を実施(盛岡市立河南中学校、中野小学校、大慈寺小学校)



訓練活動

- 水害リスク(ハザードマップ)や防災に関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及
(自治会や学校など地域住民を対象とした、水害リスクやダム・堤防等の防災施設、マイ・タイムラインや防災情報の入手に関する知識の普及活動を実施)

リスク情報等の提供

- 河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実
(事務所ホームページ及び「川の防災情報」で画像情報及び水位・雨量情報の配信継続及び機器の維持管理)



②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

水防活動の支援


- 水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所(重要水防箇所など)の確実な伝達
(水防活動関係者と重要水防箇所合同巡視を行い、危険箇所の情報共有)



③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体				
	◎連携活動 地域 個人	● グループ毎打合せ (5月予定)	● 重要水防箇所合同巡視 ● グループ毎打合せ (8月予定)	● 他機関連携型タイムラインを順次展開	
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	河川監視カメラの画像・映像など災害情報の積極的な配信の充実 			
	◎教育活動 地域 個人		● 自主防災組織に対して説明会を実施 (6月予定)、(9月予定)	● 3Dマインクラフトを活用した防災教育を実施 (11月予定)	
	◎訓練活動 地域 個人		● 水害リスク(ハザードマップ)や防災に関する知識の普及、ダムや堤防など防災施設に関する知識の普及		
③行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体				
	◎水災害対策の支援 個人				
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所(重要水防箇所など)の確実な伝達 ●			